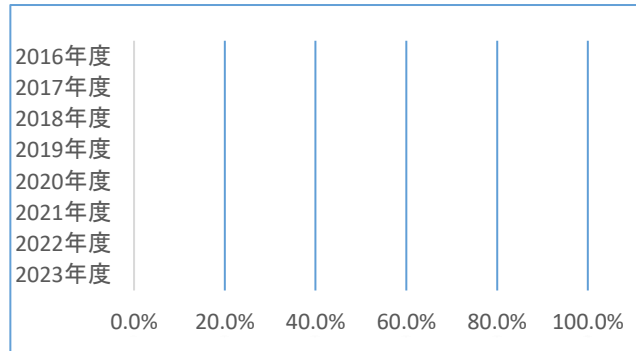


21. 術後の肺血栓塞栓症発生率

分子: 術後肺血栓塞栓症の発生件数

分母: 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

	肺血栓塞栓症 発生率(%)
2016年度	0.0%
2017年度	0.0%
2018年度	0.0%
2019年度	0.0%
2020年度	0.0%
2021年度	0.0%
2022年度	0.0%
2023年度	0.0%

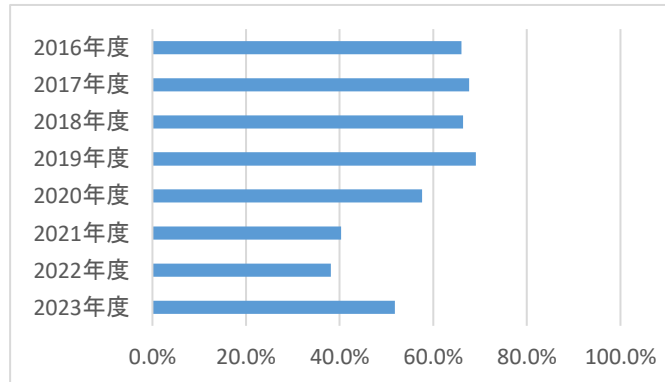


22. 救急応需率

分子: 救急車で来院した患者数

分母: 救急車受入れ要請件数(専門外、キャンセル等除く)

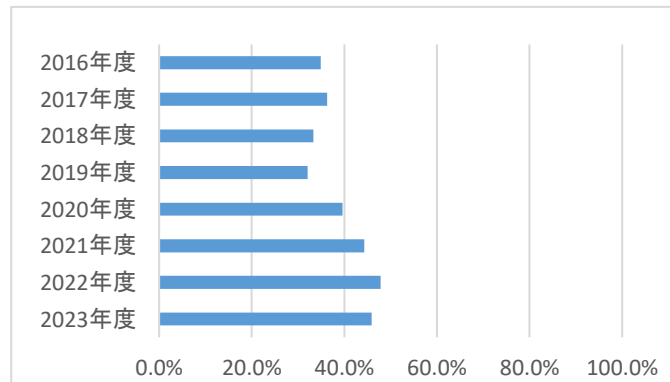
	救急応需率(%)
2016年度	66.0%
2017年度	67.7%
2018年度	66.4%
2019年度	69.1%
2020年度	57.6%
2021年度	40.3%
2022年度	38.1%
2023年度	51.8%



23. 新規入院患者における重症患者受入率

分子:入院時の日常生活機能評価が10点以上であった患者数
分母:新入院患者数

	重症患者受入率(%)
2016年度	34.9%
2017年度	36.3%
2018年度	33.3%
2019年度	32.1%
2020年度	39.6%
2021年度	44.3%
2022年度	47.8%
2023年度	45.9%

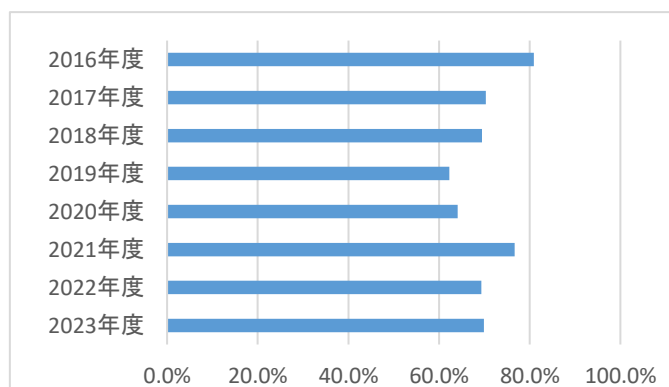


日常生活機能評価とは:日常生活を送る為に最低限必要となる動作(日常生活動作)をひとりでどこまでできるかを0~19点の得点で評価するもので、得点が低いほど生活自立度が高くなります。

24. 日常生活機能評価が4点以上改善した重症患者の割合

分子:退院時の日常生活機能評価が、入院時に比較して4点以上改善していた患者数
分母:入院時の日常生活機能評価が10点以上であった患者

	4点以上改善した重症患者の割合(%)
2016年度	80.9%
2017年度	70.3%
2018年度	69.5%
2019年度	62.3%
2020年度	64.1%
2021年度	76.7%
2022年度	69.3%
2023年度	69.9%



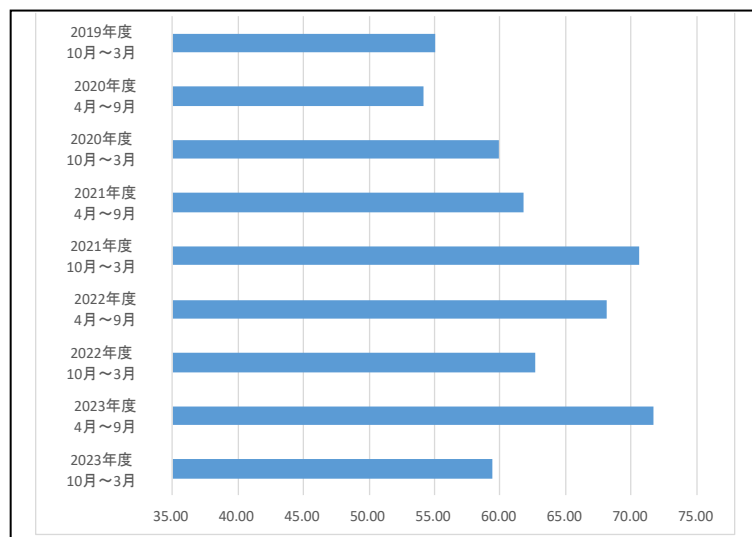
日常生活機能評価とは:日常生活を送る為に最低限必要となる動作(日常生活動作)をひとりでどこまでできるかを0~19点の得点で評価するもので、得点が低いほど生活自立度が高くなります。

25.実績指数

分子： 各患者の(FIM得点運動項目の、退棟時と入棟時の差)の総和

分母：
$$\frac{\text{入棟から退棟までの在棟日数}}{\text{状態ごとの回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数}}$$

			実績指数
2019年度	2019年度	10～3月	55.05
2020年度	2020年度	4～9月	54.20
	2020年度	10～3月	59.90
2021年度	2021年度	4～9月	61.78
	2021年度	10～3月	70.59
2022年度	2022年度	4～9月	68.16
	2022年度	10～3月	62.72
2023年度	2023年度	4～9月	71.68
	2023年度	10～3月	59.38



実績指数とは:リハビリテーションによる改善の程度を表す指標です。

FIMとは:機能的自立度評価法(Functional Independence Measure)

日常生活動作(ADL)の自立度を評価する方法です。

運動(食事・更衣・トイレ等)13項目と認知(理解・記憶等)5項目に分かれており、全18項目を介助量に応じて7段階で評価します。